

みの~れで「させていただくボランティアの精神」を思い出しました



四季文化館企画実行委員

な かね た い き

中 根 太 暉 さん

「『おかげさまで』を大切にしています」と話す中根さん

みの~れと共に生活するスタイル

Minole Life
のすすめ

No.156

七月に入り蝉の声が聞こえてきました。今年の梅雨は雨が多いせいか色鮮やかで生き生きとした紫陽花の花が綺麗ですね。子どもの頃に見たかたつむりは最近あまり見かけなくなりましたのか？別名『でんでんむし』は、早く頭を出してよ！という意味を込めて出よ・出よと、かたつむりに話しかけたことから『出よ出よ』が『でんでん』に変化していったという一説もあるそうです。今回は四季文化館企画実行委員で石岡市役所勤務の中根太暉さん取材します。

中根さんは令和元年の4月1日よりみの~れの企画実行委員として活躍しています。みの~れの企画実行委員になる前は、小川文化センターアピオスの活性化委員を務め、35周年記念イベントでも活躍されたそうです。「職業柄、『どのようにしたら地域が活性化になるのか』を知りたくて、また公共施設の運営などについても企画実行委員をやっていると参考になります。これから、みの~れでは20歳の誕生日記念イベントについて話し合いを進めていきます」と話してくれました。

中根さんに趣味を聞いてみました。「学生時代の友人と山登りやハイキングに行きます。平成から令和に変わる時、友人2人を誘って南房総で片道35kmのロングトレイルを楽しみました。「道の駅和田浦WA-O-1」から「長浜フワフワパーク」まで歩いたのが、とても良い思い出になりましたね。自分の住む石岡市にもフワフワパークがあ

り、オートキャンプ場もあるので公共施設がとても気になりますね。この建物はどこが運営しているの？とか、職業柄ですね(笑)」と話してくれました。※「トレイル」とは、登山道や自然歩道など自然を楽しみながら歩くこと

「みの~れの第一印象ですが、『清掃が行き届いて、気持ちのいいところだな』と思いました。発表会や稽古の時に、小美玉地域の皆さんに文化を発信していくのに重要な場所ですね。森もあるし、レストランもあるし、ホールもある。コロナなのでどうなるかはわかりませんが、広場を活用してセットで何かできないかな？と今年から企画実行委員になった東海村役場と常総市役所勤務の友人と話しています。みの~れは第3の場所、サードプレイス的な存在になっていておかげさまで、リフレッシュできています。家と職場の行き帰りでだけでなく、こうして立ち寄る場所があることが、とても助かっ

ています。みの~れ・アピオスに携わって、当時高校の先生から教えていただいた『させていただくボランティア』という言葉を思い出しました。ボランティア活動は、つつい自分本位の『してやるボランティア』になりがちだと思いますが、アピオス・みの~れの活動に携わったことで、相手が求めていることに耳を傾け、それに応えようとする気持ちが大事だなど気づかされています。みの~れの20歳の記念事業にむけて話し合いを進めていくのですが、何かまかしていただけるのならできることは協力していきたいと思っています。また、会議でもたくさんの方の意見を出していけたらいいなと思っています」と爽やかに話してくれました。

みの~れも20歳の誕生日にむけて色々話し合いが進んでいくことでしよう。穏やかに・健やかにお誕生日を迎えられますように。

(藤田佐知子)